

学校名	南相馬市立小高中学校	校長	箭内 仁 史
住 所	福島県南相馬市鹿島区鹿島字広町13番地	南相馬市立鹿島小学校内仮設校舎	
TEL	0 2 4 4 - 4 6 - 4 2 6 6 / 4 2 6 8		

## 歌でつなぐ絆～また会おう「群青」の町で！～

南相馬市小高区は、福島第一原子力発電所の北20km圏内に全域が入り、東日本大震災以降、住民全員が避難生活を余儀なくされています。本校の生徒たちは、南相馬市内の鹿島小学校の校庭に建てられたプレハブの仮設校舎で学校生活を続け、3年が経ちました。現在、小高区にある本校舎に通ったことのある生徒は一人もいません。しかし、厳しい避難生活の中でも保護者や地域の方々の方々の応援を受け、生徒と教職員が心を寄り添わせて、今ここでできることに精一杯取り組んでいます。いつか小高に帰ることができる日を思いながら、将来に夢を持ち、その実現に向けて一日一日を大切に学校生活を送っています。

### 「群青」の誕生

小高区は「紅梅の里」と呼ばれており、小高中学校のスクールカラーはその紅梅をイメージした「エンジ色」です。しかし、校歌に「浪群青に躍るとき」という一節があることから、「群青」も、私たちにとって絆の色ともいうべき大切な言葉であり、大切な色だと感じています。

そして、平成24年度の卒業生が、震災後2年を経て卒業を迎えるにあたり故郷や離ればなれになった仲間を想って「群青」という歌をつくりました。合唱曲に編曲されて楽譜が出版され、今では、さまざまな演奏会で取り上げられています。在校生も先輩たちの思いを受け継ぎ、いつかあの美しい小高でまた会おうという気持ちを込めて「群青」を歌い継いでいます。

震災によって一度は途絶えそうになった小高中学校の歴史。現在の生徒数は102名。数は少なくなりましたが、小高中学校に集い残った生徒が、一度は消えそうになった群青の「襷」を着実に次の学年へ繋いでくれています。“絆は強く色濃くここにある”と感じる毎日です。



平成25年度小高中学校文化祭「群青祭」において全校合唱で「群青」を歌いました。

### 「 群 青 」

平成24年度南相馬市立小高中学校卒業生



小高区本校



仮設校舎での本校

ああ あの町で生まれて 君と出会い  
 たくさん思い抱いて 一緒にときを過ごしたね  
 今 旅立つ日 見える景色は違っても  
 遠い場所で 君も同じ空 きっと見上げてるはず

「またね」と手を振るけど 明日も会えるのかな  
 遠ざかる君の笑顔 今でも忘れない

あの日見た夕陽 あの日見た花火  
 いつでも君がいたね  
 当たり前が幸せと知った  
 自転車をこいで 君と行った海  
 鮮やかな記憶が 目を閉じれば 群青に染まる

あれから2年の日が 僕らの中を過ぎて  
 3月の風に吹かれ 君を今でも思う

響けこの歌声 響け遠くまでも あの空の彼方へも  
 大切なすべてに届け  
 涙の後にも 見上げた夜空に 希望が光ってるよ  
 僕らを待つ 群青の町で

きっとまた会おう あの町で会おう  
 僕らの約束は 消えはしない 群青の絆

また会おう 群青の町で…